

研修終了レポート

第一支部『Do you know 能?』第十三弾 ～全国通訳案内士なら一度は観ておきたい能楽～

2026年1月7日(水)、今年最初のJGAの研修が、国立能楽堂において実施されました。参加者は35名(正会員25名、JGA賛助会員1名、同事務局1名、非会員6名、運営委員2名)、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県から集いました。和服姿の参加者も多く、いかにも新春らしい華やいだ雰囲気でした。



国立能楽堂様のご協力を得て今回で13回目、JGA恒例となった能楽研修は、午前中に講師によるレクチャー、昼食会、午後に能舞台鑑賞、研修終了後には希望者にて交流会と、充実した内容で、今回も好評でした。



午前中の、シテ方宝生流能楽師、武田伊左(たけだいさ)師による講義では、能楽の用語や歴史などの基礎知識にはじまり、海外のお客様へは、国による違いや、何をどの程度お伝えするのがよいのかといった実践的なものまで、大変幅広くお話し頂きました。講師ご自身が海外公演やワークショップを数多く経験していらっしゃるの、それらのエピソードは大変興味深いものでした。

お話の後には、いよいよ能舞台体験です。まず、楽屋の中で貴重な能装束を見せて頂いた後、「おまーく」の声に続いて全員で橋がかりを進み、能舞台に立ちました。



講義の最後には、面(おもて)の紹介の後、何とひとりずつ面をつけさせて頂きました。能楽師が面の小さな穴から見る景色を擬似体験でき、貴重な機会でした。



昼食を挟み、午後は、舞台鑑賞です。この日は能楽堂も入口には門松、ロビーには正月飾り、また能舞台には注連縄と、新春らしい装いで、普段はあまり上演されないめでたい演目を観賞しました。

《能》 絵馬(えま) 金森秀祥(宝生流)

《狂言》牛馬(ぎゅうば) 善竹忠亮(大蔵流)

ここで研修は一旦終了。

その後は、希望者22人で近くのカフェに移動し、交流会を設けました。皆さん和気藹々と、情報交換や歓談で、楽しく有意義なひと時を過ごしました。ガイド仲間とは普段なかなかゆっくり会えないので、昼食会も含め、貴重な交流の機会となりました。

